

# 日本サード・パーティ株式会社 今後の取組みについて

Connect to the Future



日本サード・パーティ株式会社



日本サード・パーティ株式会社

# 日本サード・パーティについて（おさらい）

日本サード・パーティ(JTP)は、日本に進出する海外のメーカ企業向けに、テクニカルサービス、ヘルプデスク、トレーニングなどの技術サービスのアウトソーシングを提供する会社として1987年に設立されました。

日本で、メーカーでもユーザでもない、第三者(=サード・パーティ)という立場から、高い専門性と技術を兼ね備えたサービス提供を行っていきたい、これが「日本サード・パーティ」の社名の由来です。

エンドユーザーに対して、ITにおける新しい選択肢を提供したいという想いで、JTP独自のサービスの展開も拡げています。

# 事業構成

- 教育ソリューション事業部:  
IT人財育成・GAIT
- ICTソリューション事業部  
システム設計・構築・運用・HD
- その他事業部:  
AI、RPA、デジタルマーケティング
- ライフサイエンス事業部  
薬機法対応パッケージ
- 西日本ソリューション事業部  
ICT・ライフサイエンス事業

# 2018年度事業計画について

# 事業方針

“Connect to the Future”

顧客の描く未来を技術でつなぐ

# 背景

エンジニア を必要とする、インフラ技術としてのIT技術



ユーザ自身 が自分で使いこなせるICT技術

## デジタルトランスフォーメーション時代

# 背景

クラウド  
AI  
RPA  
ロボティックス



顧客の課題解決

## デジタルトランスフォーメーション時代

# 背景: DX時代のエンジニアに求められること

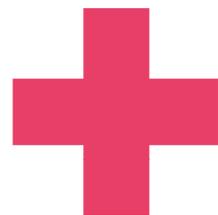
深い知見

クラウド

AI

RPA

ロボティックス



イノベーティブな  
思考

## デジタルトランスフォーメーション時代

# 弊社の課題

ビジネスモデル  
転換

“メーカービジネス” ~  
“エンドユーザビジネス”

DX技術者育成

“AI”

“ロボティックス”

“データサイエンティスト”

“RPA”

ソフトスキル強化

デザイン思考

# これまでの事業戦略

課題：“収益性の改善”

質的拡大



# 今後の事業戦略

課題：“規模の拡大”



# 2018年度の事業方針

目標：過去最高 売上高60億、利益6億の早期達成

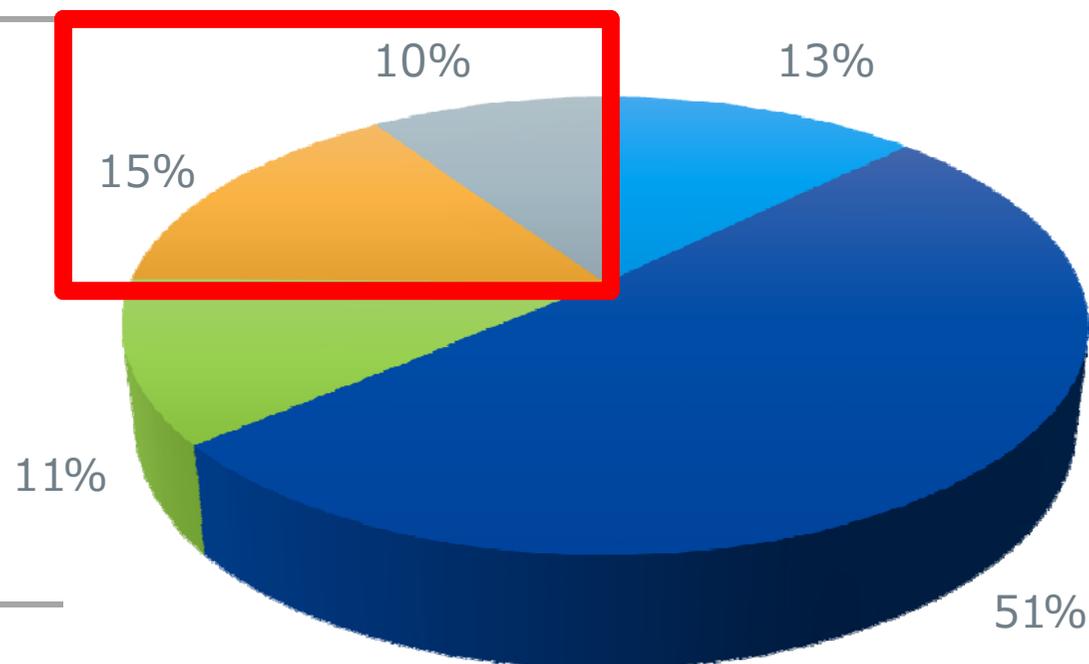
## 2018年 事業方針

事業拡大のための  
“ビジネスモデル転換”  
と“積極的投資”

## 2018年予算

売上50億円  
営業利益 1.8億円

## セグメント別売上高比率



- 教育ソリューション事業
- ICTソリューション事業
- 西日本ソリューション事業
- ライフサイエンスサービス事業
- その他の事業 (AI・ロボティクス)

# 投資項目

## 投資

積極的な採用：80名  
(新卒30名、中途 50名)

人財育成投資：  
技術スキル、ソフトスキル

施設投資：  
教育、ヘルプデスク、ライフサイエンス事業所の拡張

海外展開への投資

新規事業開発への継続投資

## リターン

既存事業の拡大

高付加価値のサービス提供

請負事業のキャパシティ拡大

インド市場でのビジネス拡大

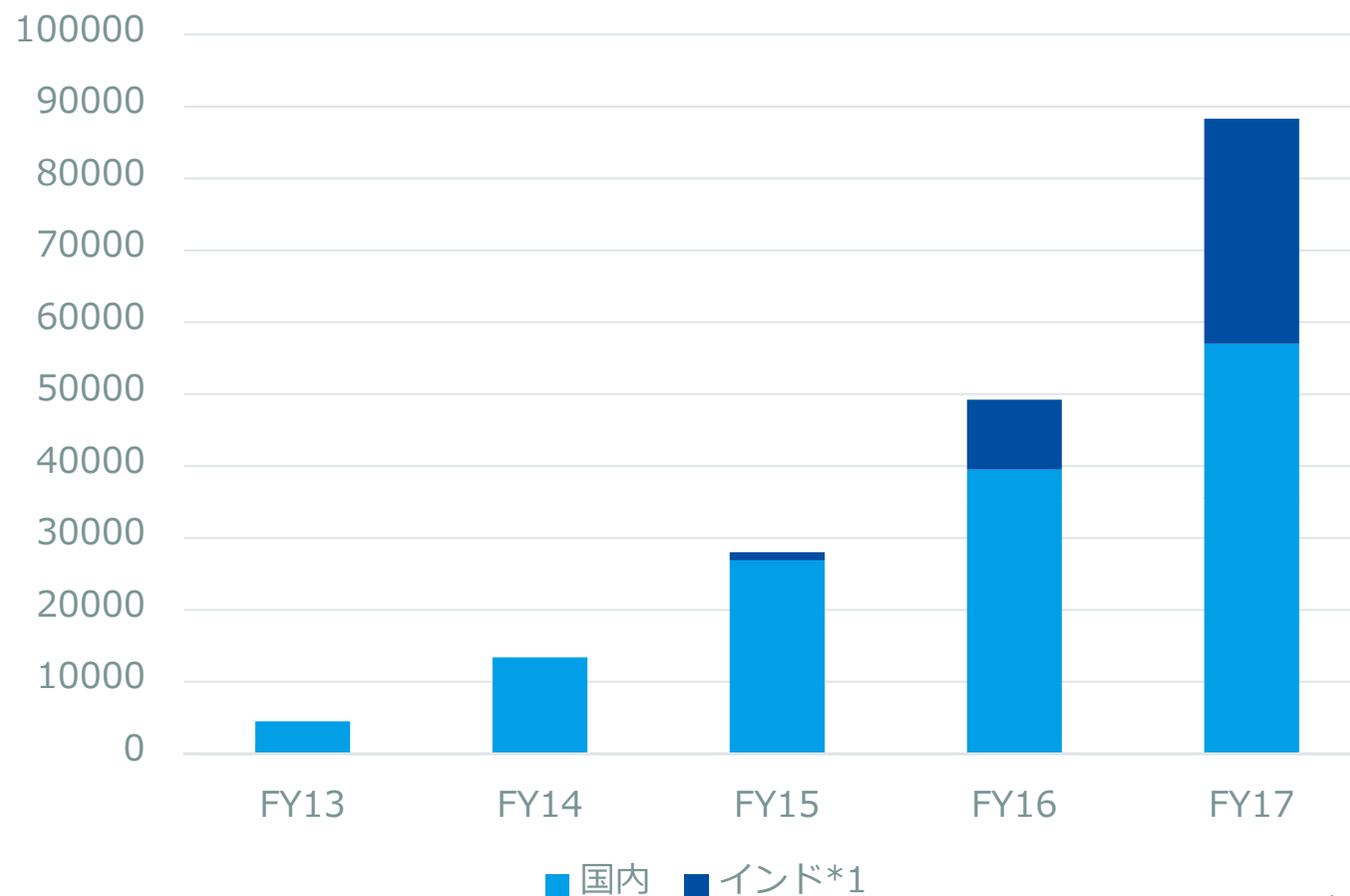
弊社自社サービスの拡充

# 重点施策

# GAIT(人財育成)

# GAIT 実績

- ◆国内累計受験者数 : 57,000名
- ◆インド学生累計受験者数 : 30,000名 \*1

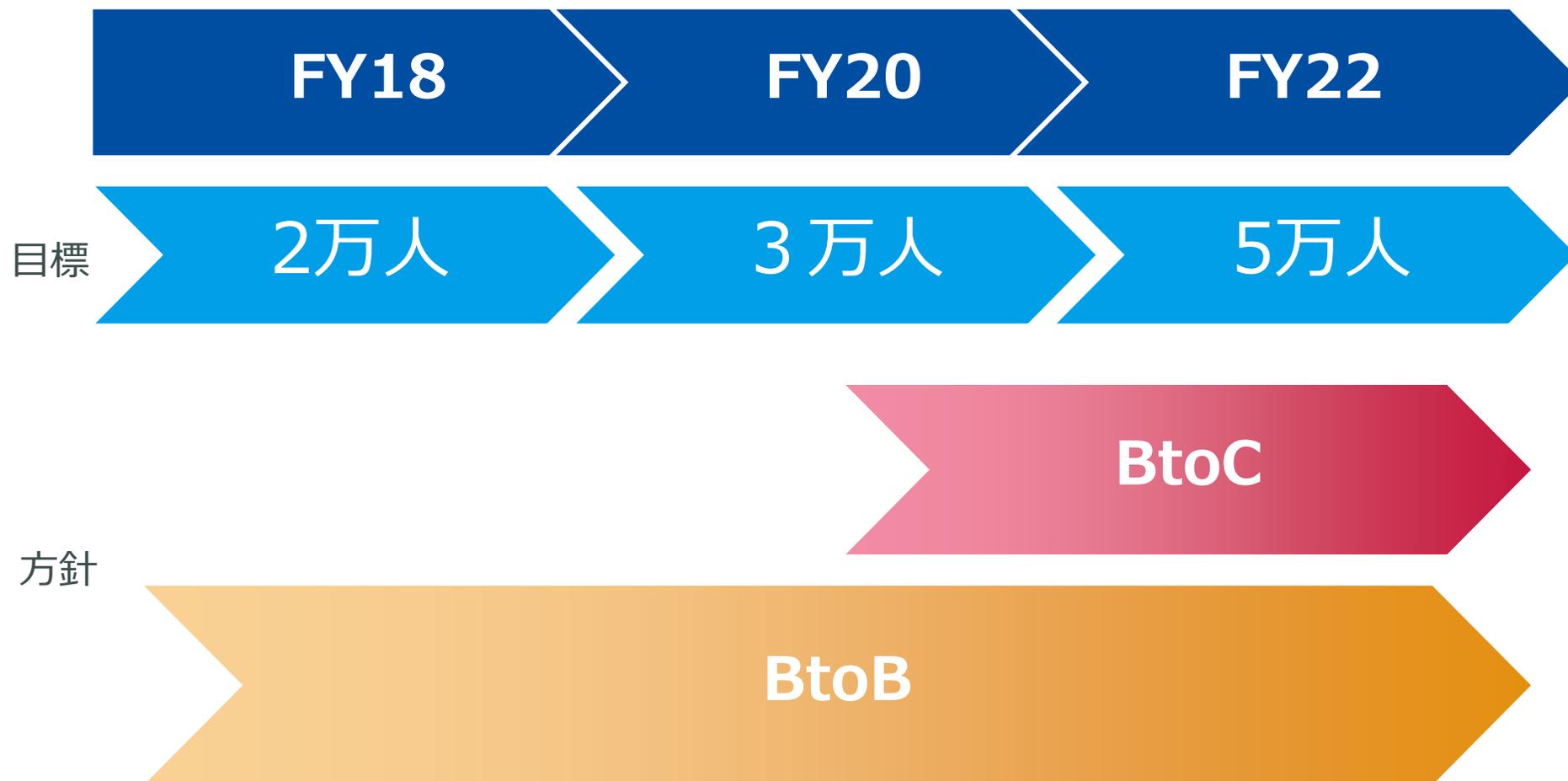


\*1 無料受験

## ◇トピックス

- ◆国内：ソフトバンク株式会社様、FY17 企業内受験として最大規模の実施
- ◆国内：中途採用用途企業増加傾向：6社

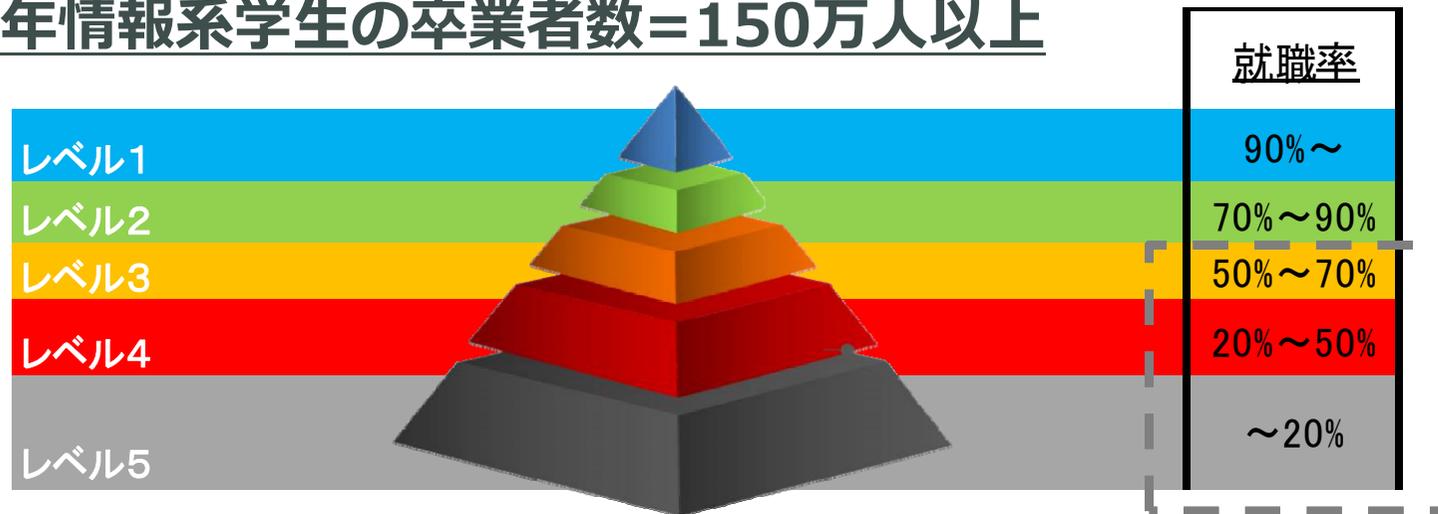
# GAIT ロードマップ



- GAITブランディング強化
- BtoB に加え BtoC 展開による有料受験者増

# グローバルビジネス ～インド情報系学生の就職事情とGAIT～

毎年情報系学生の卒業生数=150万人以上



レベル3～5 : 就職率低い数値  
優秀な学生がITスキルをアピールができていない状況

GAITによるITスキルの可視化により学生の活躍を促進



- **GAITの認知度を上げるために無償受験を推進**
- **GAIT有料受験者数 3,000名**

# グローバルビジネス

## ～GAIT インド 構想～

人財マッチングの  
採用ツールとして活用



各学生がITスキルをアピール  
採用機会の増進



学生採用のためのフィルタリング  
インドの地場企業  
インドから日本へ進出する企業  
日本からインドへ進出する企業

- ・ 学生就職紹介サポートサービス開始予定

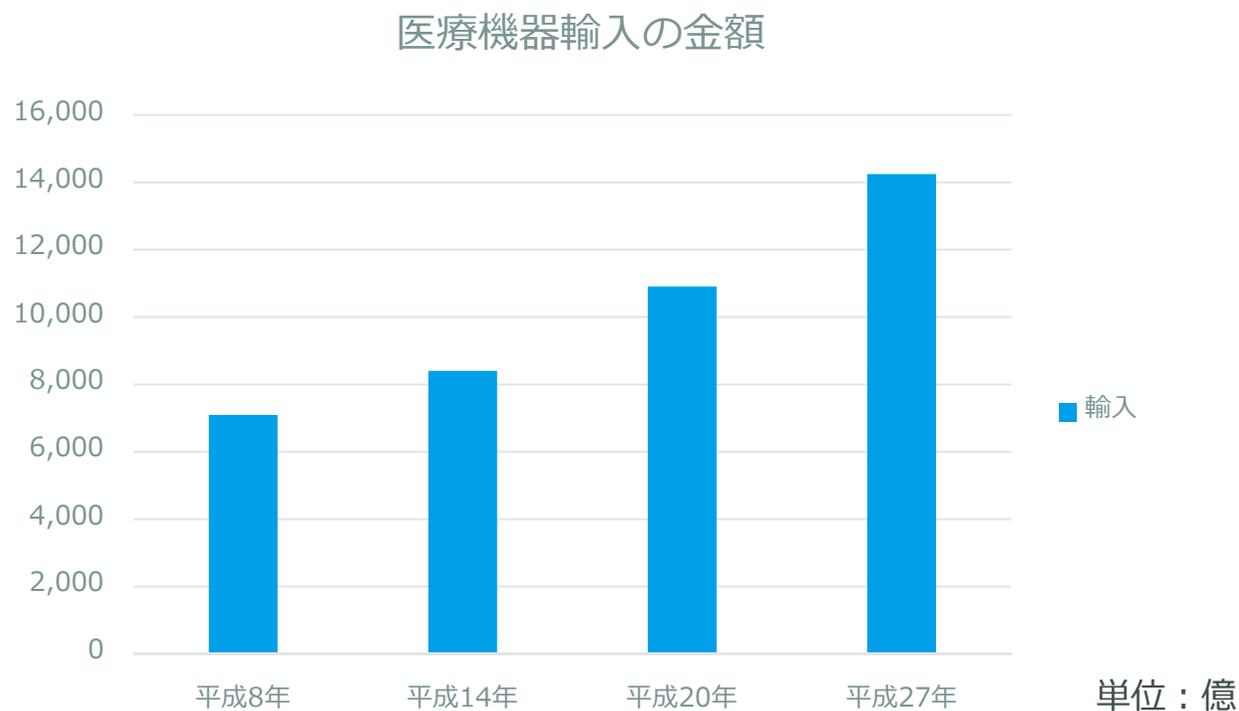
# ライフサイエンス事業



## <市場概況>

### 医療機器の輸出入金額の推移

輸入金額は平成8年から平成27年までの20年間で2倍へ増加



出典：平成27年薬事工業生産動態統計年報



## ＜海外医療機器メーカーの課題＞

日本市場参入のために解決するべき課題は多岐に渡る

それぞれの専門会社に委託する？

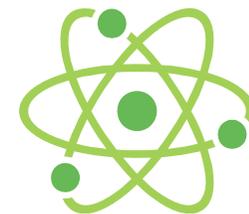


コミュニケーションは？



日本法人で体制整備？

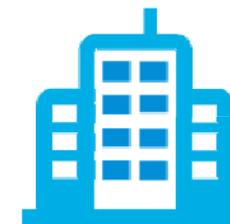




## <薬機法対応パッケージ>

海外医療機器メーカー向けに医療機器の申請業務から製品輸入、出荷判定／最終製品の保管、販売サポート、修理、市販後安全管理まで、**ワンストップ**でサービスを提供します。

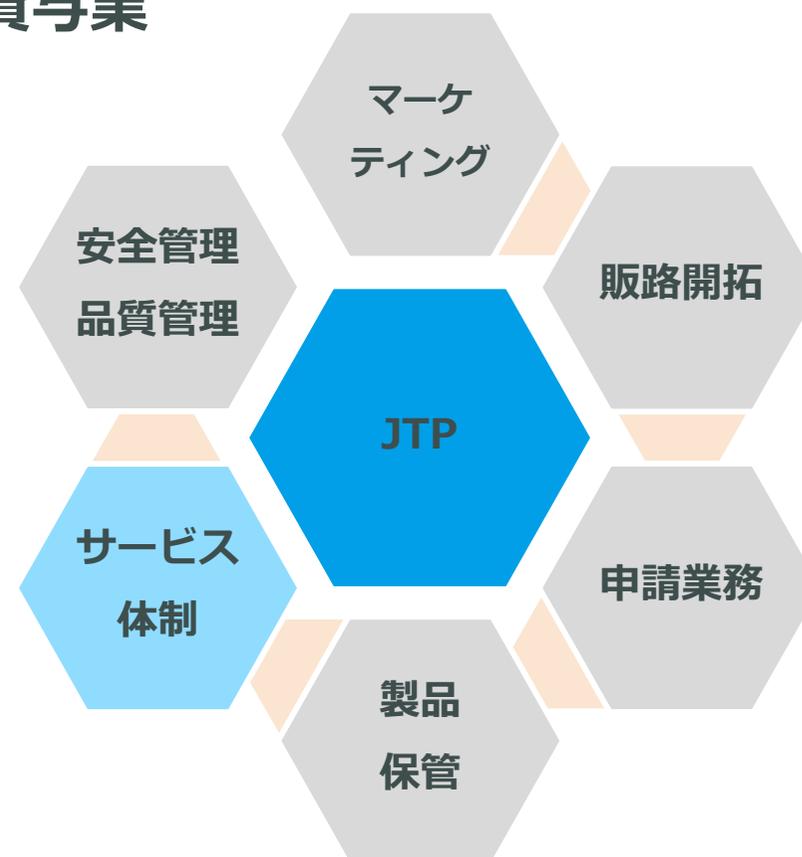




## <既存の医療機器事業のサービス>

### 医療機器修理業・医療機器販売業/貸与業

- ・コールセンター機能
- ・フィールドサービス機能
- ・リペアセンター機能
- ・デモ機/ローナ機の運用管理



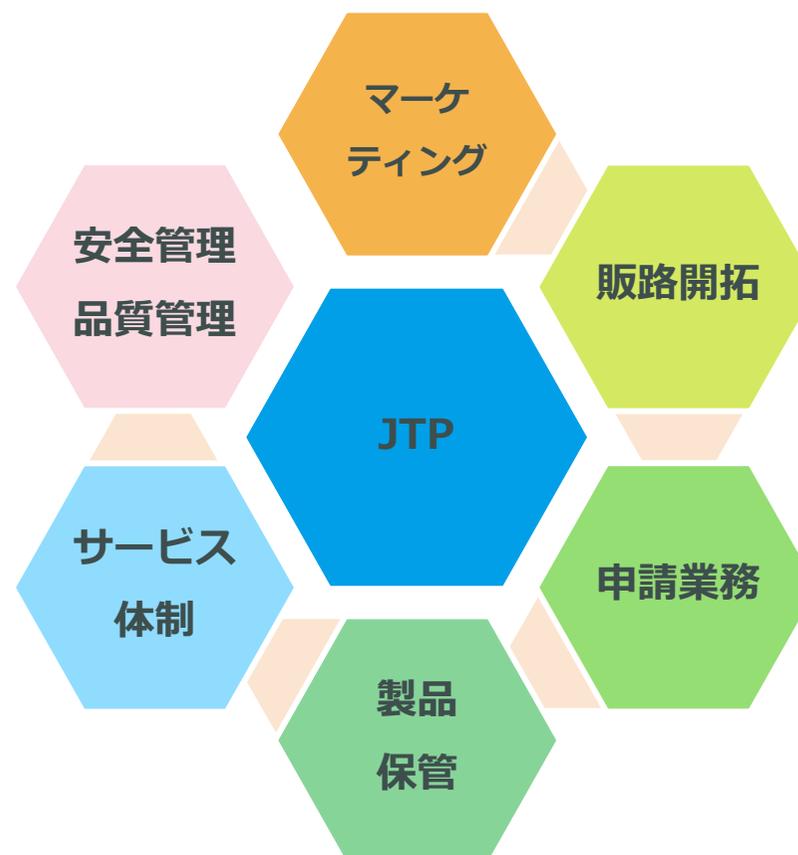


## <薬機法対応パッケージで提供するサービス>

課題解決のサービス体制を構築

4つの業許可を取得

- ・ 医療機器製造販売業
- ・ 医療機器製造業
- ・ 医療機器修理業
- ・ 医療機器販売業/貸与業



# ライフサイエンス



## <2018年度目標>

新規顧客10社

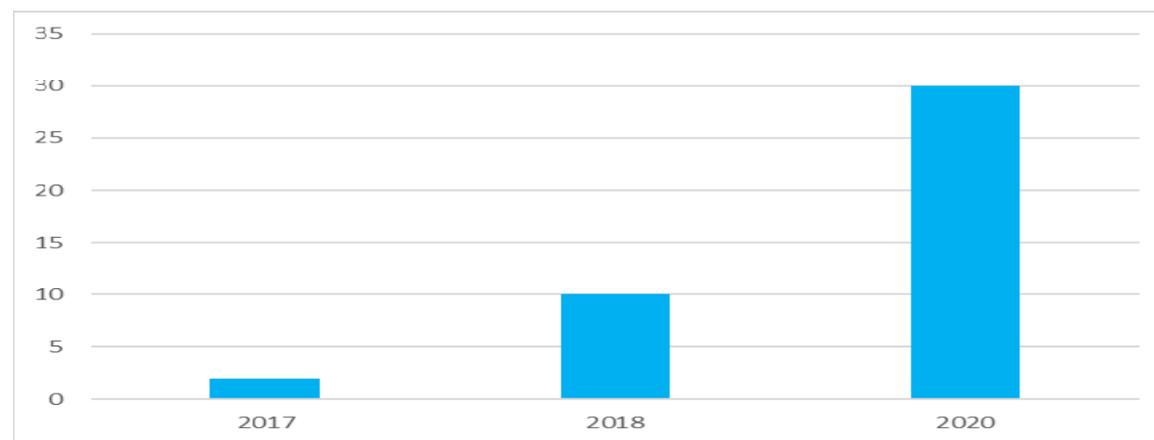


2020年 30社獲得



薬機法対応パッケージへの注力

顧客獲得件数



# AIソリューション

# Third AI



AIが、  
顧客との  
コミュニケーションを  
ビジネス戦略に変える。

# Third AI 将来

人工知能はビジネスのあらゆる場面で利活用が進む

- 多種多様なAIサービスに「つなぐ」を拡大
- 様々な利用用途に最適な技術を「引き合わせる」

コンタクトセンタ



マーケティング



営業



インフラ

Third AI  
AIサービス



金融



工場



教育



家庭

# Third AI 実績

FY17

- ✓ Third AI リリース
- ✓ LINE社 販売契約
- ✓ ソフトバンク 社 パートナー契約
- ✓ Third AIコンタクトセンターソリューション
- ✓ ロッテ チャットボットリリース
- ✓ 大手石油元売 など3案件 受注



ソフトバンク株式会社  
Ecosystem Partner Awards 2017  
Best Technology Partner of the year



# Third AI 計画

コンタクトセンターソリューション

マーケティングソリューション

RPA 連携

2019年3月

2021年3月

利用ユーザ

100

50

0

30社獲得

100社獲得

FY17

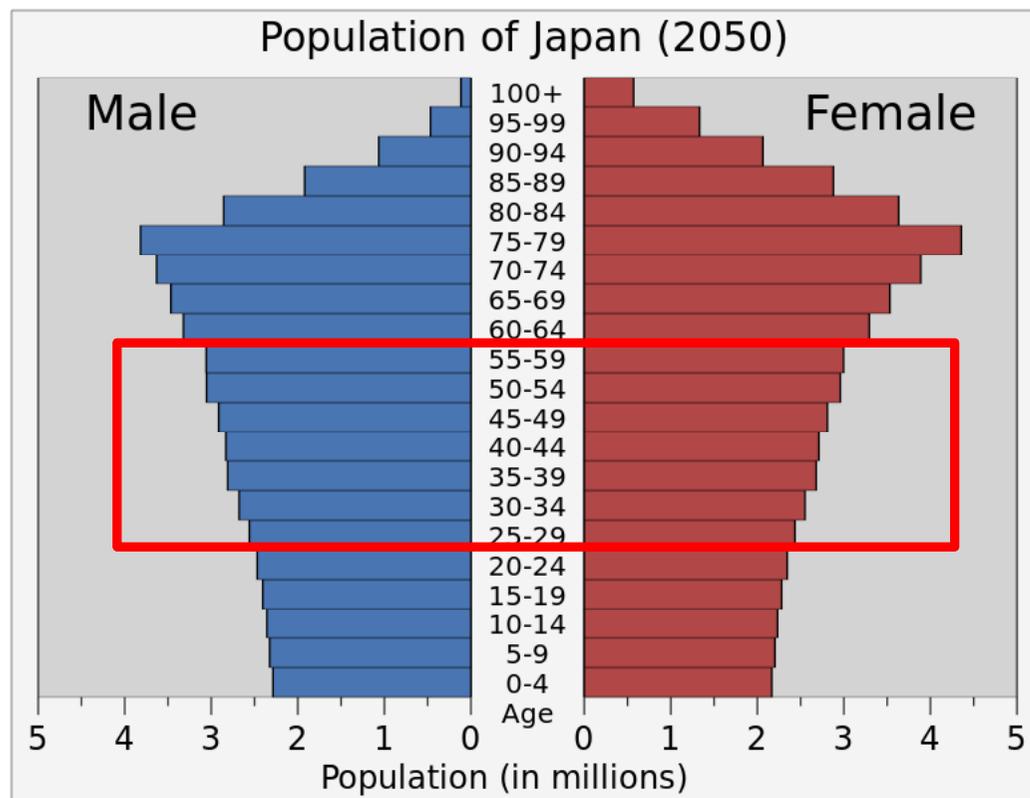
FY18

FY19

FY20

# ロボティクス事業

# 人口減少に対するロボットの活用



出典：国連推計値

## 日本の労働人口は年々減少

課題解決の方策案

- ・ 外国人労働者の受入れ
- ・ 働き方改革における雇用の拡大

## ・ ロボットの活用

- コミュニケーションロボット
- サービスロボット
- 就業支援

# ライフサイエンス業界課題解決と市場動向

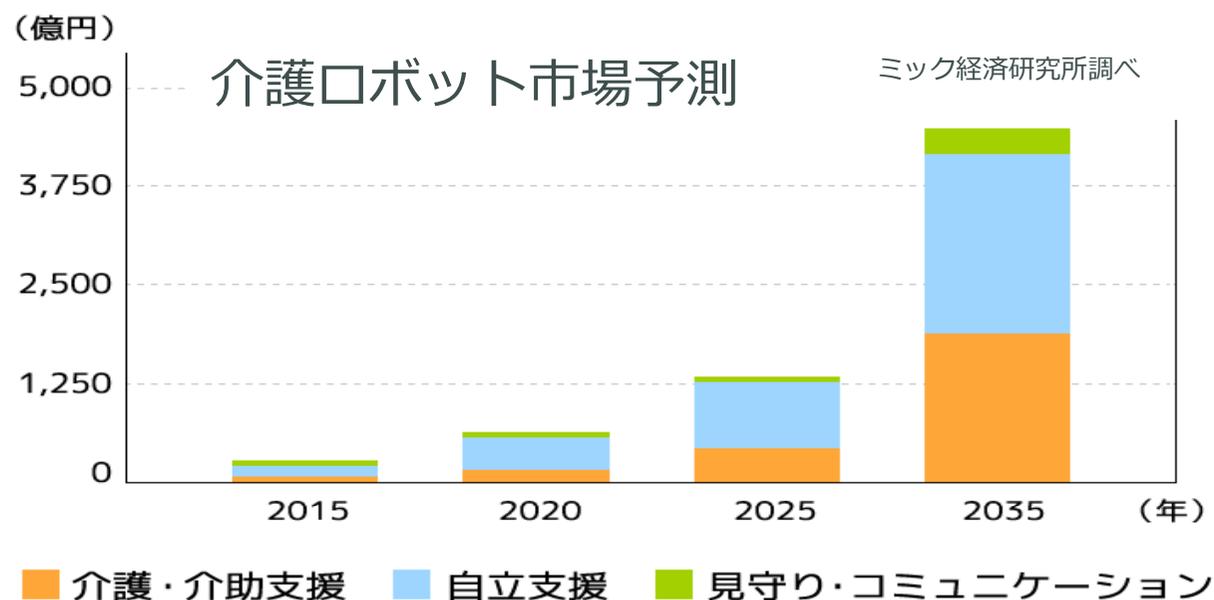
人口減少による医療収入の減少

医療・介護従事者の労働者不足

医療・介護従事者の高齢化

+

医療エビデンスに基づいた自立支援の推進



# ライフサイエンス分野へのロボティクス提供



医療



- 受付・警備支援
- コミュニケーション支援



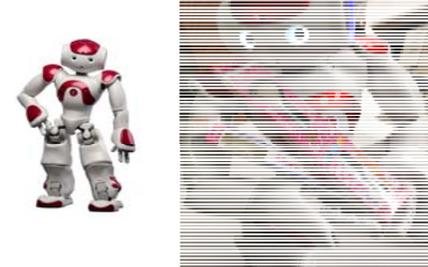
介護



- 重労働補助
- よりパーソナルな行動支援



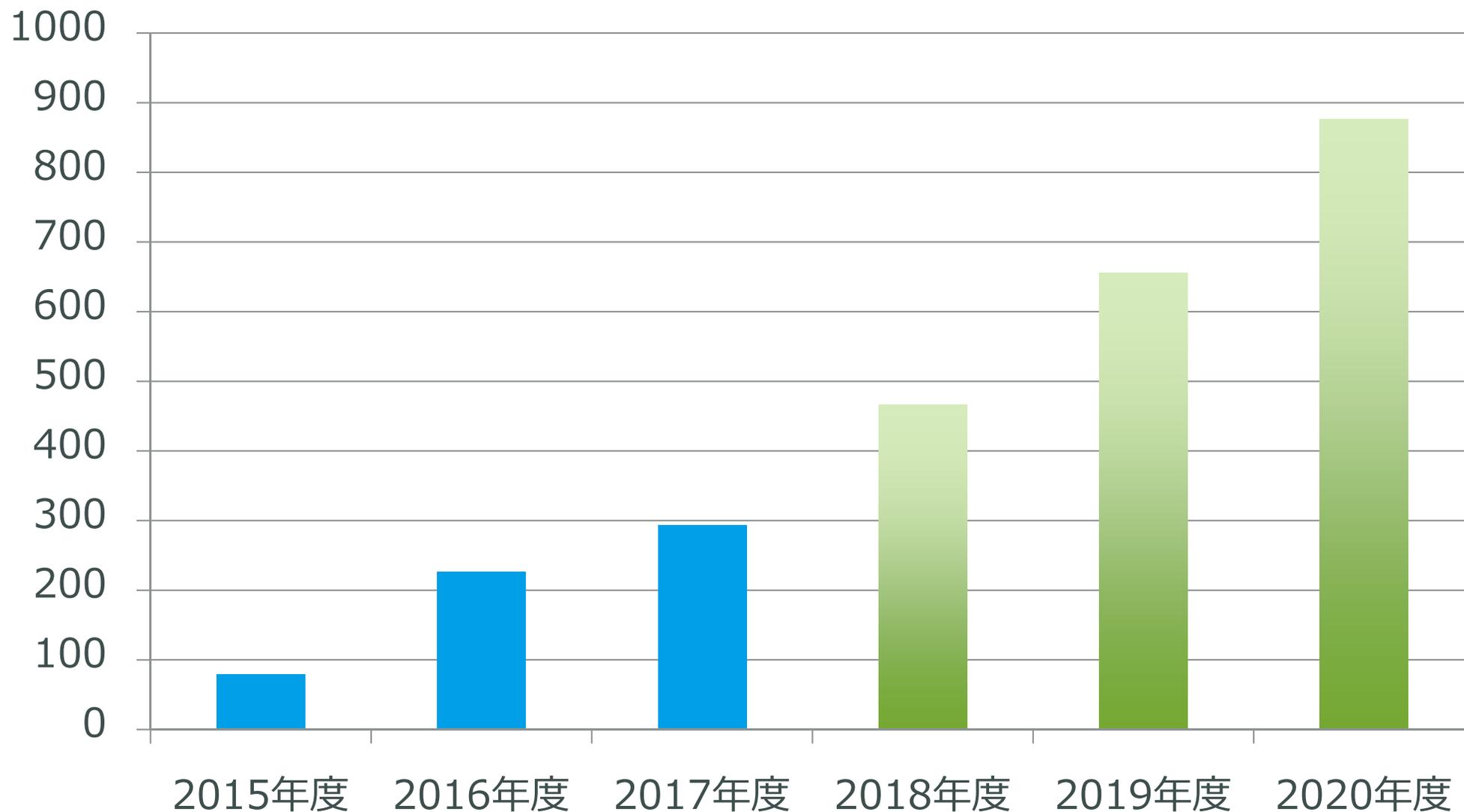
療育



- エビデンスに基づいた療育
- 応用分析行動学の取り入れ

# ロボティクス

## ロボット販売累計と見込み（台数）



# ロボット事業ラインナップ



NAO V5  
取扱開始

**2015**

AMED事業  
にNAO採用

**2016**



KIBIRO  
取扱開始

**2017**



Sanbot Elf  
販売開始

**2018**

マッスル  
スーツ  
取扱開始



NAO V6  
販売予定

**2019**



# Connect to the Future



日本サード・パーティ株式会社

